

**浜盛重則さん
琉球新報大弦小弦掲載記事**

沖縄の地元新聞社である琉球新報に浜盛さんとの経歴と共に、その「三線遊び」が四月十三日付で掲載されました。「このたび同紙の著作権許可を頂いたうえで、「三」を紹介したいと思えます。」

「あなたには翼がある。それを使うことを学び、飛びなさい」。中東の詩人の言葉という。

名古屋市内で琉球料理店を営む与那国町出身の浜盛重則さんの翼は、50年来の相棒となる三線だ。

氏は中部日本放送のラジオ番組「チバリヨー沖縄」のパーソナリティー。番組は「ハイサイ、浜ちゃんやいびーん」でスタートする。

民謡演奏のほか、沖縄の歴史や黄金言葉、食文化、観光などを紹介する。番組は2001年米国の同時多発テロの影響で沖縄の観光客数の減ったことがきっかけ。沖縄を応援したい一心だったという。打ち切りの危機を乗り越え、番組は11年目。

沖縄本島の高校を卒業し、名古屋の大学、英国への留学。庭の黒木でつくった三線と歩んだ。

名古屋市内で故郷を思えば、庄内川の岸で泣きながらつま弾き、英国では老人施設を慰問、地元テレビ局の取材を受けた。

「沖縄の文化はすごい。沖縄の音楽を弾くたびに世界が広がり、友人が増えた」という浜盛さん。三線を片手に世界を渡り歩いた。

若者は「島を飛び出し、さまざまなお仕事を体験してほしい」と力説する。一方で「原点を失つな」とも。豪快な笑いを交えた語りが人気の源。尽きない話題の中、「言葉忘れたら島忘れ、島忘れたら親忘れれる」の言葉が心に残った。

**沖縄県本土復帰四十周年記念
「第五回おかせき沖縄まつり」開催**

初めて雨天で順延した「おかせき沖縄まつり」通称「おか沖」が四月十九日に晴天下で無事開催されました。

今年「沖縄県本土復帰四十周年記念」と「おかせき沖縄まつり」が重なり、なんとも輝かしいお祭りとなりました。ゲストの「琉神 Reo」さんの演奏はさすが圧巻で、見る人をとりこにしています。大迫力の連続でお客様は大喜び。

また今回は返還報道の一環としてNHKテレビの取材が入り、「おかせき沖縄まつり」は当日の夕方21:00、返還記念日の五月十五日の特集翌日のドキュメンタリーと三回も放映されました。さらに全国放送も決定して、日本全国に「おかせき沖縄まつり」の名を知らせることができました。

もともとこの祭りは、過去に沖縄で受け取った深い意味を持つ、たまたまと言のメッセージから実現した内地での沖縄祭りです。



それが数十年の時を経ていま沖縄のテレビ画面で直に伝えることができ、感慨無量の心境です。NHKテレビには感謝の至極です。

また、今回順延したこともあり人手が不足した中で「みやくエイサー」「琉球國祭り太鼓」の皆さんが最初から最後まで陣頭指揮を執って祭りを盛り上げてくれました。「第五回おかせき沖縄まつり」に協賛してくださった皆様、遠方から駆けつけてくださった出演者の皆様、企画に賛同して携わってくれた実行役員の皆様、本当にありがとうございました。

おかせき沖縄まつり実行委員会
代表 仲宗根広子

**投稿「ラム
」神々が住むと云う島へ**

昨年の秋、沖縄一人旅に出掛けた。セントレアから飛び立つ飛行機は、二時間ほどで沖縄に運んでくれる。それなのに、那覇空港が近づくとき、急に風邪にも似た症状が現れたから、「沖縄は、私を拒んでいるの。」そんな不安が心を襲った。

翌朝、クシャミと頭痛が治まらないまま、そして睡眠不足の重たい身体を起した。せっかく沖縄へ来たのだから、無理をしても波之上宮行きたかったのだ。

「これは沖縄の友人が教えてくれた旅の祈願所。その後、久高島、斎場御嶽へと向かうことになっていた…」

目覚めると、窓の外には、どこまでも青くすみわたる空。白鮮やかな雲が浮かぶ快晴。それには神様の施しすら思わせた。

安座真港から出た高速船は、十五分ほどで久高島の徳仁港につく。

レンタルサイクルで島めぐりへ出発すると、舗装されていない道路が初めての体験になり、島の北端カール岬を目指して走ったが、分かれ道には立札が立ち立って、その先には進めない。

どうやら、神事行事期間に当たっていたようで、岬へ続く道は立ち入り禁止のようだ。「また久高島においでなさい。」きくとそういうことなんだと、次回までのお楽しみと思うことにした。

地図を見ながら、この舗装されていない草生した道を通り、ロマンスロードへ出る。さつきまでの道がウソのように走り易かった。東屋の横に梯子がかかっている。そこを降りたところがウヰー浜。

あまりにも透明な海と、白い雲が浮かぶ青い空に、私は時を忘れて立ち尽くす。

**「宮古の神々と聖なる森」
平井 芽阿里 著**

沖縄には、「御獄うたき」という、神々の聖なる森が点在している。「この森は、神社のように一般に開かれた聖地としてはなく、普段は決して入ってはならない森である」ことが多く、地元の人さえも固く拒む場所であることも多い。

今、どう考えを巡らせても答えが出ないくらい、不思議な縁で、宮古島の西原にいらした森に迷い込むことになった私は、かれこれ10年以上、「この森と、そしてこの森を守る女性たちと関わってきた。神々の聖なる森で、特別な女性たちによって、常に最善を尽くして行われる儀礼。森いっばいに響き渡る神歌。一つ一つ丁寧に、整然と並べられた供物。目の前に広がるのは、学術的な専門用語ではとても表現できないほどの、豊かで、ただただ尊く美しい世界だった。

これまで、研究者としての私は、修士論文や博士論文、その他様々な媒体に「論文」という形式で「この神々と聖なる森の世界」について描いてきた。時におぼあやおじいたちは、難解な文書の隅々にまで目を通して下さった。しかしいつかは、もっとわかりやすい言葉で、普通に読んでもらえるような文書を書きたいというかねてからの願いが、新泉社の方々の協力や叶うこととなったのは、何よりの幸運であった。

本書に記したのは、宮古の神々と聖なる森の、捉えきれないほど豊かな世界観のほんの一部分にしか過ぎない。しかしもしその一片でも、まるで共に旅をするように体感してもらいたいのであれば、これ以上の喜びはない。―(本書「はじめに」より)

新泉社 2012年10月5日 発売

ロマンスロードを走っている頃にと気づいたことがある。それは高速船に乗った時には、あれほど辛かった体が、いつしか軽くなり、肩から下げた重たい靴さへ気にならないほどになっていること。綺麗な海と空に治癒されたのだろうか？

三泊四日の沖縄滞在中、久高島で過ごした一日だけが、透けるような晴天だったことに、神様の不思議なご加護を感じざるを得なかった。



神々の住む久高島への連絡船
「不思議な体験を運んで」

**東筋みずえさん 教師免許取得
★ピラツカ記者インタビュー**

我が愛知沖縄県人会連合会加盟団体の八重山古典民謡保存会、東海支部の支部長を務める東筋みずえさんが、「この度、その取得には非常に難しいとされる八重山古典民謡の教師免許に晴れて合格されました。」

その栄光までのお話と想いについて、ピラツカ記者がお伺いしました。

ピラツカ記者 八重山古典民謡保存会設立14周年初めての教師免許の誕生、おめでとうございます。支部長の今の心境はいかがですか？

支部長 まず師匠に感謝です。家族や友

人、先輩と様々な人達に支えられ、沢山のことを学びそれが今の自分につながっていると、いつとも嬉しいです。

ピラツカ 正直、何度目の挑戦ですか？

支部長 2度目です。

ピラツカ 何が難しかったですか？

支部長 一度目は緊張するので、審査員の顔を見ないようにして、視線を下に落として歌ったのが駄目だったみたいで、今回は審査委員長の顔をしっかりと見ながら発音、調弦、弾き方、思入れを意識しながら歌えたからかも知れません。

ピラツカ 支部長としての重荷はどうでしたか？

支部長 今まで本部、各支部の役員は先生方ばかりで琉球民謡の資格を持っていても、八重山古典民謡の資格がないので気がつかないままに、これからは若い世代に継承していくことが大変だと思っが、まだまだ沢山の唄を師匠に教わりながら、只歌っただけではなく、教養も身につけていきたいです。

ピラツカ 今後はどのように？

支部長 ただ上手に歌うのではなく、自分の味や色を加え常に響く唄を目標にして感謝と努力と謙虚さを忘れずに、合格に甘んじず引き締めた精進して行きたいと思っています。

これからも師匠には優しく「指導をお願いしたいと思っています。」

★教師免許の資格は「ゴールではなく精進の第一歩」そんな言葉が思い浮かびそうな謙虚な志に脱帽です。これからも唄の魂と人の道を導く先駆者として期待したいものです。



■著者紹介

平井芽阿里(ひらい・めあり)名古屋出身。十六歳の時、沖縄県宮古島の高校に編入。この時の体験を機に沖縄に心惹かれ、神々と聖なる森の研究に従事。

2012年4月より日本学術振興会特別研究員(PD)。博士(文学)

平井さんは、愛知の沖縄調査会のメンバーとして「活躍され、県人会会報に「沖縄ありんくりん」を連載していただきました。

**第二十三回豊田沖縄ふれあいエイサー祭り
八月六日開催 道ジュネが熱い**

今年も熱いエイサーの季節がやって来りました。スペシャルゲストに上間綾乃さんをお迎えします。素晴らしい唄声もお楽しみ下さい。入場無料です。詳細はイベント情報にて

**ふるさと全国県人会まつり 2012
九月八・九日に開催**

東海地方にある、全国北海道から沖縄の県人会がそれぞれの特徴を活かした展示、体験、販売を行います。沖縄県人会も「唄と踊りの島沖縄」というテーマで出展予定。めんそーれ！入場無料です。詳細はイベント情報にて

**マイケミのは次巻に掲載いたします。
どうぞお楽しみに♪**

◇イベント情報◇

- ★第3回 名古屋泡盛愛好会★
日時:8月8日(水) 18:30~20:00 受付18:00~
場所:ホテル名古屋ガーデンパレス 名古屋市中区錦3丁目11番
入場料 6000円 前売り制 お問合せ 052-524-2615
- ★中日ドラゴンズ 沖縄Week in ナゴヤドーム★
日時:平成24年8月14日(火)~8月19日(日)
場所:ナゴヤドーム場内及び入場口付近
- ★第33回 豊田沖縄ふれあいエイサーまつり★
日時:平成24年8月26日(日) 12:00開場、13:00開演~20:00終了 入場料無料
場所:豊田スタジアム東イベント広場 http://www.geocities.jp/aichi_eisa_shinka/
お問合せ 090-1747-9666 事務局 小林
- ポスター http://aichi-okinawa.org/images/chirashi/toyota_eisa33-omote.jpg
- ★ふるさと全国県人会祭り 2012★
日時:平成24年9月8日(土)・9日(日) 入場無料
場所:名古屋市久屋大通公園 久屋広場・光の広場 名古屋市中区栄3-65
お問合せ 052-211-0083(読売新聞中部支社事業課) 沖縄県人会もあります!!
- ★第38回 大阪 綱(ちな)・ちゆら・エイサー祭★
日時:平成24年 9/8(土)と那原大綱曳き 9(日) エイサー祭り
場所:大阪府大阪市大正区千島 千島公園グランド
お問合せ 関西沖縄文庫 06-6552-6709
愛知からも、愛知琉球エイサー太鼓連、みやくエイサーが参加します。

愛知琉球エイサー太鼓連
一箱こエイサーするサ〜サ〜♪
会長 美里梨恵
E-mail taikoren_8131@yahoo.co.jp
URL http://www.geocities.jp/eisa_taikoren/
愛知 エイサー で検索!今すぐHPへアクセスGO!

おきなわカマ
やんばる
シーキスバ・サーター・アシタキ
10:00~18:00 0565-76-7372
月 定休 豊田市白川町日面274-25
<http://www.015.upp.so-net.ne.jp/yanbaru/>

沖縄居酒屋 **くわち〜**
店長 知念 若太 CHINEN RYUTA
〒465-0042 名古屋市中東区區が丘2
イーストスクエア1B
TEL:052-778-1700

沖縄居酒屋 ゆいゆい
大城 節子
〒460-0008 名古屋市中区栄三丁目8番27号
栄ビル1F
宗プリンセス大通リ かに本家隣
TEL 052-263-5663
<http://yuiyui.kidane.com>
定休日:火曜日

うりづんエイサー
琉球の風を吹かそう!
会長 新居 健児
TEL:080-5135-3917
〒474-0073 大府市東新町6-16 ラナンキュラス205

沖縄家庭料理 **遊来**
営業時間 PM 5:00~PM 11:00
定休日:月曜日
TEL:0561-63-0608 瀬長 恵子
愛知県豊知郡長久手町井堀327